

1 単元(題材)名 喫茶店を開こう②

2 単元(題材)設定の理由

本係の生徒は5名であり、自閉症、ADHDなどを併せ有している。言葉でのやりとりが苦手な生徒もいるが、言われたことをおおむね理解し、自分の役割を意識して活動に取り組むことができる。

本学年では、1学期に「身だしなみ」「場に応じた言動」「自分の役割の理解と実行」という3点をねらって、高等部の喫茶サービスをモデルにした学習を行った。高等部の喫茶サービスを見学してあこがれをもち、見学で分かったことを参考に保護者や教員に向けて喫茶店を開いて、お客さんの意見をもとに振り返り学習を行った。ここでは、中学部2年生を4つのグループに分け全員がそれぞれの役割を果たせるようにし、フロア係席担当は、①お客さんを席に案内すること、②注文を取りキッチン係に伝えること、③キッチン係から受け取った品物をお客さんに届けること、④その他のお客さんへの対応を担当した。この単元を通して、生徒たちは自分の役割にやりがいや責任感をもち、それぞれの仕事に臨むにあたって思考・判断・内省する場面を多く垣間見ることができた。

本単元では、次の段階として、生徒が1学期に高い意欲を示した喫茶店づくりを題材に、キャリア発達における観点から、①集団の中で自分の意見を適切に表現すること（人間関係形成能力）、②活動場面を適切に振り返り次に活かそうとすること（意思決定能力）、③自分の決めた目標に向けて自分で課題を解決しようとする（意思決定能力）などをねらっていく。本単元は、第一次・第二次で1学期に行った喫茶店のお客様アンケートをもとにグループとしての目標設定を行う。次に、第三次・第四次で高等部生に向けて喫茶サービスを行い、そのアンケート結果からグループ目標の再設定を行う。第五次では、保護者や高等部生に対して、実際に喫茶店を開店する。

他者の評価をもとに自分の課題を振り返り、自己の目標と解決への筋道を立てることが本単元の大きなねらいである。今回、1学期に保護者から得た評価に加えて、高等部生からの評価を受けて新たに目標を再設定する場面を設けた。憧れの先輩からのアドバイスを受けることで、自分の課題を素直に受け入れられると考えたからである。目標設定の話し合いにおいては、まず個人で自分の意見をワークシートにまとめることで活発に意見の出る話し合いをねらっていく。その際、自分の意見の理由や根拠を言えるようにワークシートの工夫を行う。そして、目標を達成するために具体的な練習方法まで考えていけるようにしていきたい。

本時では、高等部生からのアンケート結果とビデオの映像をもとに活動を振り返り、新たに設定されたグループ課題が、なぜ課題となるのか、どのようにすれば解決できるのかなどを話し合いによって深めていきたい。他者に指摘されたことが課題の原因なのではなく、課題の本質に気づくことでより主体的に課題解決の道筋を探り、目標達成に向けた自発的な学習を行えるようにしていきたい。

生徒は、今後、高等部に進学し、社会に出ていく。その際、自己を見つめて目標を設定し、努力していくことはとても大切である。また、目標を見つめ直し、自分で課題を解決していこうとする意欲をもつことは将来の大きな力となる。本単元を通して、夢や希望をもって将来について考え、やりがいをもって様々な活動に取り組む姿勢を培ってほしいと考える。たくさんの称賛や感謝の言葉を受け、肯定的な自己理解を育みながら、ともに目標に迫っていく体験を積み重ねていきたい。

3 目標

- ・自分で決めた目標に向けて、意欲的に課題解決に取り組むことができる。 [関心・意欲・態度]
- ・集団における自他の役割を知ることができる。 [知識・理解][技能]
- ・集団の中で自分の意見を適切に表現することができる。 [思考・判断・表現]

4 学習計画(16時間扱い)

- 第一次 1学期の振り返りを行う・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- 第二次 目標設定を設定し、練習を行う・・・・・・・・・・・・ 4時間

- 第三次 喫茶店の開店①・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間  
 第四次 目標の再設定とパート練習・・・・・・・・・・・・ 6時間(本時 5 / 6時間)  
 第五次 喫茶店の開店②・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・話し合いの趣旨に沿った発言をすることができる。 [思考・判断・表現]
- ・自分の意見と理由を述べるができる。 [思考・判断・表現]
- ・アンケートの結果をもとに自分の意見を見つけたり、まとめたりすることができる。 [思考・判断・表現]

(2) 児童(生徒)の実態及び個人の目標

氏名	本時の目標に関する状態像	本時の目標
A	・いくつかの選択肢をもとに自分の意見をまとめることができる。	・アンケートの結果をもとに自分の意見をまとめることができる。
B	・話し合いのおおまかな内容を理解し、自分の意見を考えてまとめることができる。	・話し合いの趣旨に沿った発言をすることができる。
C	・アンケート結果から必要な課題を見つけることができる。	・アンケートの結果をもとに自分の意見を見つけることができる。
D	・あらかじめ決められた内容であれば、発表することができる。	・自分の意見と理由を述べることができる。
E	・自分の意見を言うことができるが、適切に言うことが難しい。	・気持ちを落ち着けて、自分の意見と理由を述べるができる。

(3) 準備・資料

チェック表、アンケート、ビデオ、テレビ、トレイ、名札、バインダー、身だしなみチェック表、エプロン、注文票接客マニュアル、ワークシートⅠ、ワークシートⅡ、アンケート結果集計表

(4) 展開

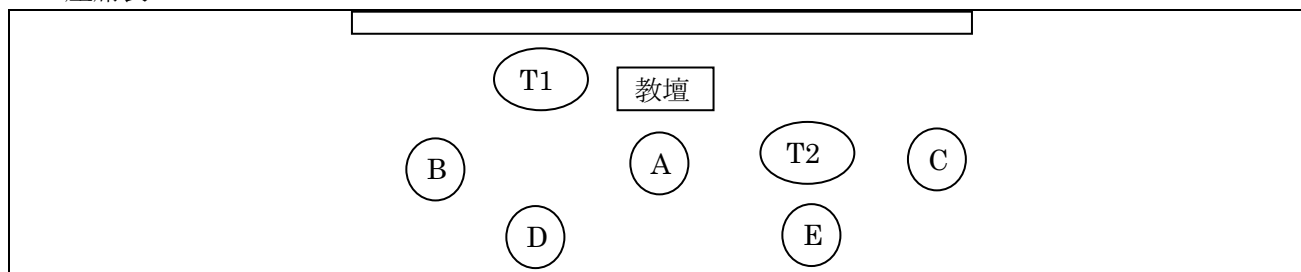
学習の内容及び活動	生徒への支援の手だて(かかわり)・キャリア教育との関連
1 ペアになって、身だしなみを相互に確認しあう。  2 基本的な挨拶の確認を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いらっしやいませ。</li> <li>・ありがとうございました。</li> <li>・失礼いたします。</li> <li>・はい、かしこまりました。</li> <li>・少々お待ちください。</li> </ul> </div> 3 前時の復習をし、本時の目標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             目標について話し合おう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エプロンをつけて身だしなみを整えた状態で着席するよう言葉かけする。</li> <li>・身だしなみの整っていない箇所を、相手に的確に伝えることが難しい場合は、身だしなみチェック表を活用するよう言葉かけする。(人間関係形成能力、情報活用能力)</li> <li>・立つ姿勢と挨拶の仕方を、既習事項を思い出して行えるよう言葉かけする。</li> <li>・自己の姿勢を振り返ることができるように、望ましい立ち姿、挨拶の仕方を黒板に掲示する。(情報活用能力)</li> <li>・本時の目標をワークシートの空欄に書き入れることで、目標を意識して活動できるようにする。</li> </ul>
4 目標の再設定に向けた話し合いを行う。 (1) ワークシートⅠからワークシートⅡに課題を書きうつす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記載してある課題をビデオで確認できるよう言葉かけする。(情報活用能力)</li> </ul>

<p>(2) ワークシートとビデオの映像を照らし合わせて活動の様子を振り返る。</p> <p>(3) 見つけた課題を改善する必要性について話し合い、ワークシートに記入する。</p> <p>(4) 改善策や練習方法について話し合い、ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオでワークシート I に記載されている課題を確認できない場合は、T1 と T2 でロールプレイを行う。</li> <li>・ビデオの映像を見て気づいたことやワークシートにまとめたことを互いに言い合い、多くの気づきを得られるようにする。(人間関係形成能力)</li> <li>・お客様の立場になって考えるよう言葉かけすることで、課題を改善する必要性について気づきやすいようにする。(人間関係形成能力)</li> </ul> <p>(評) 話し合いの趣旨に沿った発言をすることができたか。 (B) [観察]</p> <p>(評) 自分の意見と理由を述べることができたか。 (D, E) [観察]</p> <p>(評) アンケートの結果をもとに自分の意見を見つたり、まとめたりすることができたか。 (A, C) [観察]</p>
<p>5 接客練習を行う。 目標達成に向けた練習を代表の生徒が行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表の生徒が練習を行うことで、次時の内容を知るとともに日常でも気を付けて生活ができるようにする。</li> </ul>
<p>6 本時のまとめをし、次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成感、成就感が味わえるよう生徒への肯定的な言葉かけ、具体的な称賛をする。(人間関係形成能力)</li> </ul>

## 6 T2以下の役割

指導場面	担当者	具体的な役割・児童(生徒)への支援の手だて
2	T2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の身だしなみを確認する際、Eが不適切な言い方をした場合は、言い直すよう言葉かけする。(人間関係形成能力) また、気持ちが昂っている場合は、一旦落ち着くまで集団から離れるかどうかを自分で判断できるように促す。(意思決定能力)</li> </ul>
4	T2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを注視していない生徒に対して、「あれは何かな」などと間接的な言葉かけを行い、活動に集中できるようにする。</li> <li>・ワークシートに書いてある内容を発言できない生徒がいた場合は、挙手するよう促す。</li> <li>・自分の意見をうまくまとめられない場合は、もう一度アンケート結果を見直すよう言葉かけをする。</li> </ul>

## 7 座席表



8 資料

ワークシート I (前時に作成)

月 日
今日の活動
_____ 係 担当 名前 _____
1. 自分の考え
高等部生のアンケートやビデオから考えた問題点
なぜそう思ったか
2. グループとしての新しい問題点
_____

ワークシート II (本時に作成)

月 日
今日の活動
_____ 係 担当 名前 _____
1. グループとしての新しい問題点
_____
2. なぜだめなのか
_____
3. どうすれば良いか (グループのめあて)
_____